

彼方 【かなた】

校長通信

H29.4.28

Vol.6

【朝礼で伝えたかったこと】

四月にお知らせした学校教育目標は頭に入りましたか？「みがき合い、支え合う、心豊かでたくましい生徒」です。是非意識して毎日を過ごしてほしいと思います。

皆さんにお話ししたいことはひとつです。

一、「支え合う」というのは、どういうことか？」という事です。二つの例でお話しします。

白杉生徒会長が先日、三大伝統の「明るい元気な挨拶」を向上させるために、「自分だけの挨拶」というキーワードを皆さんに提案してくれました。そして今週挨拶運動を展開しています。この投げかけを皆さんはどのように受け止め、支えていきますか？

中央委員会の皆さんは、学習委員会の皆さんは、生活委員会の皆さんは、美化委員会の皆さんは、歌声委員会の皆さんは、給食委員会の皆さんは、広報委員会の皆さんは、各部活動の部長の皆さんは、どのようにこの提案を支えていくのでしょうか？

学校は助け合うことを学ぶ場です。決していじめたり、戦ったりする場所ではありません。自分の良さを表現する場所なのです。皆さんが生き抜いていく社会には、厳しい現実が沢山待っています。答えがわからない問題にみんなが納得する答えを考え、行動したり、自分の思い通りにならないことにうまく折り合いをつけていたりしていかなくてはなりません。

難しい問題を目の前に突きつけられても、それを乗り切るためにみんなで支え合って生きていかなければならないのです。学校という場所は、そういう「支え合い」を練習し、身につけていく場所なのです。

白杉生徒会長の提案を是非実現してほしいと思います。自分一人ぐらいではなく、一人の自分だからできることに向き合い「自分だけの挨拶」を本気で創ってほしいのです。笑顔をつけ加える、相手の目を見る、立ち止まって会釈する、名前を付ける等、自分だけの挨拶を私達教師も創ります。自分の部活動だけの挨拶、自分の学級だけの挨拶等、みんないろいろな挨拶を創造し、白山ブランドの一つにしていきたいのです。そして進路実現のための高校訪問や職場体験、修学旅行、林間学校、一年生の校外学習で、毎日積み上げている白山ブランドの「挨拶」を実践してほしいのです。我孫子市の中学校はどこも頑張っています、オプション付きの「自分だけの挨拶」を意識して行っているところは一つもありません。市内をリードし、パール歯科から正門前の通りが「白山挨拶ロード」になるように、みんな支え合って取り組んでいきたいと思えます。来週からさらなる変化を作り出していきたいと思えます。

次は、「授業改革」です。白山ブランドとなる「授業」は、皆さんが「支え合い」、互いに「みがき合う」と授業です。そして皆さんが「わかった・できた」と言えるような授業です。そのために先生方ができることは、一時間一時間の授業の課題やめあてを皆さんと一緒に考え、黒板に青枠で提示することです。

そして自分で考えたことを友達と話し合い、解決していく場面を設定することです。授業の最後には「何がわかったか、何ができたか」を確認して黒板に赤枠で囲んでまとめることです。どの教科の授業もこの三つを意識して、皆さんが「主体的」に学び、自分自身や仲間との「対話」を通して学べるような授業づくりを進めていきます。でも授業は先生方だけが創るものではありません。むしろ先生方は皆さんの「学び」のサポーターであり、応援団でありたいと思います。皆さんが受け身ではなく主体的に授業に向かうためには、「教えてー」「いいよー」という関係を学級内で創り上げて欲しいのです。わからないところをそのままにせず、積極的に質問する、手がわかるまで説明する、こういった取り組みを日々積み重ねることで、皆さんの「学び」に対する意識が高まり、学力が向上していくのです。

「わからないことがわかる、できないことができる」こんなに楽しいことはありません。勉強は本当に楽しい協働作業です。楽しいからいくつになっても学び続けられるのです。私もその一人です！

今日は、「支え合う」という話をしました。「白山っていいねー」と、私達ひとりひとりが本当に実感できるように、自分から変化を創り出そう！そして来月は白山ブランドとなる「自分だけの挨拶」と「楽しい授業」のベースを創り上げ、保護者のみなさんや来校された方々が、「学校の挨拶が、何故かよくなってきたね。」「白山中の授業は、みんな真剣で楽しそうだね！」と認められるように、みんな本気で支え合おう！